

第2分科会

# 地域社会をつなぎ、防災文化を育てる

発表者 「防災塾・だるま」塾長 鷺山龍太郎 元横浜市立小学校長

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
神奈川県横浜市	703名	平成20年度	10名	6回	8名

## 学校教育目標

### 豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子

#### 学校・地域の特徴

学校運営協議会を横浜に先駆けて創設。学校支援本部（地域学校協働活動推進員）が年間を通して学校支援活動。

地区の自治会代表等が学校運営協議会や太尾ふるさと祭り実行委員として参画。

学校、保護者、地域の連携による地域が一体となった防災訓練や学校と地域の祭りなどで地区の創生が継続発展している。

#### 学校運営協議会の概要

##### 委員の構成


- ・地域学校協働活動推進員（学校支援本部）
- ・保護者（PTA）代表
- ・学校職員
- ・学校支援ボランティア代表
- ・地域防災拠点運営委員長等
- ・学識経験者

##### これまでの主な議題例

- ・学校経営方針
- ・学校評価
- ・学校予算
- ・各学年からの教育活動報告
- ・授業参観
- ・登下校等安全
- ・学校祭りなど連携行事、地域防災拠点訓練への連携開催

##### 組織図

学校運営協議会・地域防災拠点運営委員会  
 教育支援委員会（＝地域学校協働本部）  
 学校職員 学校支援本部 PTA本部  
 ファンド委員会  
 太尾ふるさとまつり実行委員会  
 見守り隊 お父さんの会 学校支援ボランティア→



#### 地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

取組のポイント（一体的実施による学校・地域の課題解決）

- A 「学校を拠点とした地域づくり」の理念を掲げ、学校支援本部活動、学校運営協議会活動により強力に学校を支援
- B 学校職員のPDCAサイクルと噛み合った学校運営協議会運営（学校職員の主体的参画）
- C 東日本大震災以来、防災・安全への学校・保護者・地域連携を議題とする
- D マンション住人と自治会等との乖離の問題を学校拠点防災訓練で克服

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
神奈川県横浜市	574名	平成22年度	10名	4回	8名

## 学校教育目標

# 心をあわせ あかるくのびる 北綱の子

### 学校・地域の特徴

東横線沿線であり、戦後田んぼが宅地化して学校が開校。  
横浜市内でも子育て世帯が多い。

大きな自治会の辺縁が集まった地域であったが、学校運営協議会での協議をもとに、学校を拠点として地区づくりが進んだ。

東日本大震災以来、防災とまちづくりについての連携を強化。

学校、保護者、地域の連携による地域が一体となった防災訓練や学校と地域の祭りなどで地区の創生が継続発展している。

### 学校運営協議会の概要

#### 委員の構成

- ・地域学校協働活動推進員
- ・保護者代表学校職員
- ・学校支援ボランティア代表
- ・地域防災拠点運営委員長等

#### これまでの主な議題例

- ・学校経営方針
- ・学校評価
- ・学校予算
- ・登下校等安全
- ・学校祭りなど連携行事、地域防災拠点訓練への連携開催

組織図

### 学校運営協議会一（地域防災拠点運営委員会）

**職員会議  
各特別委員会**

**PTA  
見守り隊 学校支援ボランティア**

### 地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

取組のポイント（一体的実施による学校・地域の課題解決）

**A 学校職員のPDCAサイクルと噛み合った学校運営協議会運営（学校職員の主体的参画）**

- ・学校経営方針・教育課程・予算・地域防災・登下校安全・学校評価

**B 東日本大震災以来、防災・安全への学校・保護者・地域連携を議題とする**

（大川小学校津波事故教訓から学校保健安全法30条への対応）

**C 授業参観と共催の地域防災訓練（職員への負担が少なく、児童・保護者・職員・地域が一体的に実施）**

# 発表者：鷺山龍太郎



## プロフィール

防災士 「防災塾・だるま」塾長 元横浜市立小学校長

校長として、地域、保護者等と連携した防災まちづくりを推進。

退職後は、行政機関、自治会、学校、教委等で防災の講演や支援、普及活動。

北綱島小学区(校長在任2010年度～2013年度)は、2018年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞。

太尾小学校区(校長在任2014年度～2015年度)は、2020年度「防災まちづくり大賞総務大臣賞」受賞。

訪問させていただき、両校ともさらなる「学校を核としたまちづくり」が進展していることを実感。

## 要旨

横浜市立北綱島小学校・太尾小学校は、学校運営協議会を中心とした学校・保護者・地域の連携を継続発展地域・保護者による学校支援体制が深化。学校を拠点とした学区の防災まちづくりが活性化。

そのポイントには学校PDCAサイクルに噛み合った学校運営協議会の実質化と大川小事故教訓の反映がある。

今回、両学校の元校長の鷲山が両校の今を取材して紹介する。

## 取組成果

- (1) 学校運営協議会と学校経営のPDCAサイクルが噛み合い、学校目標実現に向けた取組が深化
- (2) 登下校安全見守り体制、いじめ防止対策、防災教育への学校・保護者・地域連携が深化
- (3) 学校運営協議会が推進する「学校授業参観共催の地域防災訓練」「学校と地域のまつり」で地域社会再生


継続発展する取組のポイント（一体的実施による学校・地域の課題解決）

- A 学校のチーム化とPDCA サイクル確立 →学校運営協議会にて協議、承認、助言、支援するサイクル  
・学校経営方針・教育課程・予算・地域防災・登下校安全・いじめ防止対策・学校評価
- B 学校運営協議会における校長・学校職員の役割は、学校職員、保護者、地域などの主体的参画を促し、合意形成を創出する「ファシリテーター」
- C 授業参観と共催の地域防災訓練 学校拠点地域まつり  
(職員への負担が少なく、児童・保護者・職員・地域が一体になり防災を学ぶ)

変化・成長 学校職員・児童・保護者組織・地域組織・それぞれの成長 「学校を核とした防災まちづくり」の実現

令和6年度  
第3回 学校運営協議会

**豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子**



次 第

- 学校運営協議会会長挨拶（学校運営協議会会長 竹崎 理浩 様）
- PTA 挨拶（PTA 会長 波多野 大 様）
- 学校長挨拶（学校長 館 雅之）
- <協議>
- 前期を終えて
- 運動会の取組  
代表委員、6年生による運動会の取組についての説明
- 本校のいじめ認知状況と取組について 横浜こども会議について
- 横浜子ども会議を受けて、子ども達のグループ協議参加
- 協議（3校時授業内容感想を含め）
- おわりの言葉（学校運営協議会副会長 田嶋 成記 様）

令和6年10月17日（木）

9時30分～協議  
10時40分～グループ協議参加  
於：太尾小学校 FMD

令和6年度 横浜市立太尾小学校 学校運営協議会委員名簿

No.	カテゴリ	役職	氏 名	任期	参 考	新任 継続	報酬 有無
1	地域住民	会長	竹崎 理浩	R6.4.1～ R7.3.31	町内会 会長 (太尾親和町会)	継続	支給
2	地域住民		徳成 和雄	R6.4.1～ R7.3.31	文化・スポーツクラブ 代表	継続	支給
3	地域住民		摩尼 秀法	R6.4.1～ R7.3.31	幼稚園 園長 (大倉山アソカ幼稚園)	継続	支給
4	保護者		波多野 大	R6.4.1～ R7.3.31	PTA 会長	継続	支給
5	保護者		片山 亜美佳	R6.4.1～ R7.3.31	PTA 副会長	新規	支給
6	学校運営に 資する活動 を行う者	副会長	田嶋 成記	R6.4.1～ R7.3.31	学校・地域コーディネーター	継続	支給
7	学校運営に 資する活動 を行う者		黒田 瑞枝	R6.4.1～ R7.3.31	放課後キッズクラブ 主任	継続	支給
8	学識経験者		為田 裕行	R6.4.1～ R7.3.31	フォーティンズリゾート代表取締役	継続	支給
9	学識経験者		坂本 聡志	R6.4.1～ R7.3.31	高等学校 校長 (県立港北高等学校)	継続	本市 以外
10	学識経験者		後藤 秀吉	R6.4.1～ R7.3.31	中学校 校長 (大綱中学校)	継続	本市 職員
11	設置校の学 校長		館 雅之	R6.4.1～ R7.3.31	設置校 校長 (太尾小学校)	継続	本市 職員



2024年10月17日元校長鷲山が取材させていただきました

## A 4 一枚「曼荼羅型」の横浜市「中期学校経営方針」形式

コミュニティ・スクールの前に 職員チーム化と自律的PDCAサイクルの確立が重要

横浜市立 a1 令和 4 - 6 年度版 中期学校経営方針 (令和 5 年度修正)

学校 教育 目標	「豊かに学びともに未来をひらく太尾の子」 【知】自ら学び、考え高め合い、生きてはたらく確かな学力を身につける太尾の子。 【徳】自己肯定感と思いやりの心をもとに、豊かな心を育み、よりよく行動できる太尾の子。 【体】健やかな体をつくり、健康で安全に生きる力を育む太尾の子。 【公】太尾のまちに学び、まちを愛し、まちに生きる太尾の子。 【関】太尾のまちの、横浜の、持続可能な社会の未来をひらく太尾の子。			
学校 概要	創立 48 周年 児童生徒数: 717 人	学校長 館 雅之 主な関係校: 大綱中学校 神奈川県立港北高等学校	副校長 平野 千恵	2 学期制 一般学級: 22 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	大綱中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間育てる子ども像」と具体的取組
<コミュニケーションする力> <探求する力> <挑戦する力>	大綱中学校 大綱小学校 大豆戸小学校	○主体的に学習に取り組む子ども ~学び合う~ ○あいつができて、友達や地球との関わりを大切にすることも、一緒に学ぶ ○自分の力を活かしながら仲間と協力してチャレンジする子ども ~未来を創る~ ○進歩的な学習を前提に学習の強弱について偏り、各教科で育につけることに重点を置くことができるようにする。 ○学習の中で協力的な学びの場面をつくり、地域を活用したカリキュラム作りを推進し続ける。 ○子どもたちによる主体的な深い学びの場を全校展開していく。家庭、地域の習熟に努める。 ○校長研修や合同研修会などで児童生徒理解を深め、それぞれの発達段階において子どもたちのよき成長を促す。9年間を通して自己有用感を育んでいくことを目指す。

中期 取組 目標	「ともに豊かに生きることを学ぶ学校」～Society 5.0 社会の「未来」に生きる子どもに必要な力を～ 「豊かに学び」 ・自らすすんで学び、人の話を心で聴き、学び合い、豊かな体験を通して学ぶ子ども 「ともに未来をひらく」 ・自尊感情をもち、思いやりの心を原点にして、器なく、中がみなく物事を見つめ続ける子ども ・地域の自然と社会、人に学び、地域を愛し、地域に生き、地域の持続可能な社会の未来をひらく子ども 「太尾の子」 ・太尾の豊かな自然、はるか昔開かれた歴史と、太尾の町を愛し、みんなを助け生きていこうとする子ども ・進歩を愛し、積極的に社会にかかわり貢献しようとする子ども ・日本(地域)の伝統や文化を尊重しながら、国際社会の発展に貢献しようとする子ども
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①「学びのオーナーシップを子どもに」を具現化する授業づくりを推進する。 ②「分化、個性化、個別化」を視点にしたどの子どもも主体的に取り組む学びの構築する。 ③カリキュラムマネジメントを推進し、指導と評価の一体化をより図り、本校ならではの教育課程の創造する。
担当 確かな学力部会	
徳 豊かな心	①どの子どもにも自己肯定感と思いやりの心、規範意識を高めていく。 ②道徳科の学びを充実させ、様々な価値観を互いに理解し合ったり、受け入れたりすることの大切さを感じ取ることができるようにする。 ③新しい生活様式のもの、相手意識をもって関わることの大切さを感じ取ることができるようにする。
担当 豊かな心部会	
体 健やかな体	①心身共に健康的な体づくり、生活習慣向上に取り組む。 ②鶴見川を走ろう会、運動会などの体育的行事や集会等を通して、健康でたくましい体をつくる。 ③保健指導、食育を教科に関連して位置づけ、担任と養護教諭、栄養職員との連携で推進する。
担当 健やかな体部会	
公 自分づくり教育 開 (キャリア教育)	①特別活動を中心に人と関わる体験から学ぶことを重視する。 ②自分と人や物事との関係性を理解する中で、自分らしさを発揮しながらお互いのよさを認め合うようにする。 ③テーマや課題を自分で選択、決め、決め直して行動し続け、役に立つ喜びを感じとれるようにする。
担当 確かな学力部会	
いじめへの対応	①教職員の対話を定期的に行い、意識向上、組織対応を推進する。 ②いじめ防止対策委員会の機能化を図り、認知、及び認知案件の経過観察、再発防止に努める。 ③全職員がスタンダードを基盤とした一貫した児童指導に努め、児童の規範意識を高める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①教職員の対話を定期的に行い、研修、人材育成の場としていく。 ②主幹教諭を中心に、職員が組織的に課題解決する中で、学校運営力を育成する体制を再構築する。いく組織運営を推進する。 ③タイムマネジメント意識をもち、業務計画をもとにした業務推進を図り、19時までには退勤できる働き方実践していく。
担当 主幹会	
特別支援教育 (インクルーシブ教育)	①違いがあることから始まる学びの構築を推進する。 ②特別支援教育支援員などを含めた校内支援体制を推進する。 ③個別の教育支援計画や個別の指導計画を本人や保護者の願いを元に作成し、一人ひとりのニーズに応じた支援に活用する。
担当 豊かな心部会	
地域連携と 安全・防災教育	①「ふるさと太尾構想」の理念のもとに、地域社会の再構築を図る。 ②学校運営協議会や教育支援委員会を中心に、地域、保護者の皆様の学校運営への参画を推進する。 ③地域、保護者、学校の持続可能な連携による、交通安全、防犯、防災教育を推進する。
担当 ふるさと太尾部会	
課外活動	①マーチングバンドの活動を保護者会・後援会と連携し、運営面の再構築を図る。 ②特別陸上クラブの活動は、目標をもって運動に取り組めるようにする。 ③様々な地域行事への学校職員による支援を均衡化し、参加できる体制を継続していく。
担当 主幹会	

### 学校職員チーム化 中期学校経営方針

知  
学力向上

確かな学力主幹教諭  
確かな学力部会  
(避難誘導・学校再開班)

徳  
豊かな心

豊かな心主幹教諭  
豊かな心部会  
(生活班・KCT)

体  
健やかな体

健やかな体主幹教諭  
健やかな体部会  
(救出・救護班)

いじめ防止対策

いじめ防止対策委員会

特別支援教育

特別支援教育校内委員会

地域連携と防災

地域連携・防災主幹教諭  
地域連携・防災部会  
(避難所支援班)

確かな学力部会

豊かな心部会

健やかな体部会

いじめ防止対策委員会

主幹会

ふるさと太尾部会

各チームで

- ・学校経営方針案策定
- ・年間アクションプラン策定
- ・各教育活動計画検討
- ・学校評価項策定
- ・評価と反省
- ・次年度計画案策定

太尾小学校職員組織  
PDCAサイクル



太尾小 学校運営協議会の  
PDCAサイクル

令和6年度 学校運営協議会 年間予定

PDCAサイクル

4月

PLAN

中期学校経営方針案確認  
新体制始動 学年開き  
予算案確立

説明・提案

5～7月

DO

中期学校経営方針案確認  
新体制始動 教育活動展開  
学校運営協議会に報告

連携・支援

8～11月

CHECK

安全・防災・いじめ等課題解決  
地域・保護者連携

12月～2月

学校経営方針項目で  
学校評価アンケート実施  
(児童・保護者・地域・職員)

ACTION

新年度計画策定

学校評価・意見

	日時・場所	協議内容等
第1回	5月8日(水) 9:30～ FMD	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営協議会委員委嘱</li> <li>太尾小学校経営方針について</li> <li>学校運営協議会年間計画について</li> <li>「ふるさと太尾構想」「太尾小学校ふるさとまつり」について</li> </ul>
第2回	7月4日(木) 9:30～ FMD	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度 学校予算について</li> <li>令和6年度 教育課程について</li> <li>学校行事、児童の様子について</li> </ul>
第3回	10月17日(木) 9:30～ FMD	<ul style="list-style-type: none"> <li>「太尾小学校ふるさとまつり」振り返り</li> <li>前期を終えて</li> <li>運動会の取組について</li> <li>地域防災拠点訓練について</li> </ul>
第4回	2月6日(木) 9:30～ FMD	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価について</li> <li>令和6年度 学校運営協議会振り返り</li> </ul>

協議→承認

協議→承認  
支援体制

授業参観  
連携構築

学校評価・意見



## ふるさと太尾構想（平成27年度策定 平成30年度一部改訂） ～太尾小学校を核とした、まちづくりと防災教育推進プラン～



はじめに 「ふるさと太尾構想」とは

太尾小学校は、45年の歴史において「太尾小学校を核としたまちづくり」という地域の願いを受けて、地域に愛され、地域に支えられ、地域の拠点として、地域との連携によって成長してきた。

しかし、学校とまちのかかわりにおける課題も感じられる。学校、保護者、地域の共通理解と連携関係の実質化、学校の教育課程の整備による主体的なかわり、東日本大震災以後の学校、保護者、地域連携による防災教育の推進などは、積極的に課題解決をしていきたいところである。

そこで、40周年の節目に、これまでの歩みとその理念を、学校職員、保護者、地域で共通理解し、整理が必要なのは整理し、持続させていきたいものは持続発展のための方策を考え、意図的計画的に本校の特色として発展させていきたい。

その理念と課題解決、そして推進計画の共通理解を「ふるさと太尾構想」と称する。

### 1 太尾小学校への地域・保護者参画と支援（本校の先進的風土）

学校運営協議会、教育懇談会による、地域の代表や保護者の代表が学校運営に参画するとともに、学校支援本部（地域コーディネーター）が学校を支援するボランティアをコーディネートする体制を持続発展させていく。

【方針】黎明期のペースでの取組を整理し、目的を明確にして負担感少なく、効率的にできるようにする。

### 2 太尾小学校を核としたまちの構築（地域の願い）

「太尾小学校ふるさとまつり」などの行事を学校、保護者、地域が実質的に連携して実施することを通して、学校を核として、子どもたちと住民にとってお互いの顔が見える、愛するふるさとと思える、豊かな地域社会「ふるさと太尾」の構築をめざす。

【方針】本校の特色ある教育活動に位置付け、学校、保護者、地域で分担し、継続発展させる。

### 3 太尾小学校の特色ある教育活動の持続と発展

マーチングバンド、特別陸上クラブ、鶴見川を走ろう会、舟運、漢字検定など、地域の理解や支援を受けて存続してきた教育活動を整理したり、放課後キッズクラブとの連携を工夫したりして、誰もが参加しやすいようにし、存続していけるようにする。

【方針】整理、位置付け整備、分担して、誰もが参加しやすいような形で継続できるようにする。

### 4 太尾小学校と多様な連携関係の持続と発展

- (1) 幼稚園、保育園、乳幼児支援施設（どろっぶ）との連携
- (2) 小中連携
- (3) 県立港北高等学校との連携
- (4) 放課後キッズクラブ、学童など放課後保育との連携
- (5) 町内会、連合町内会、子供会、地域の祭りや盆踊りとの連携

### 5 太尾地域に学ぶ学習と地域の人、もの、ことへの学校からの能動的なかわり

- (1) 緑化ボランティアによる、岩石園、水田、メダカ池、鶴見川水族館、屋上緑化、夢ロードなどの教育課程（生活科、総合的な学習、教科関連）による能動的活用。
- (2) 舟運、鶴見川流域ネットワーク、大倉山記念館など郷土の自然や歴史の研究組織、福祉施設や組織（あいの家、社会福祉協議会、地域ケアプラザ）、大倉山地区防犯拠点センターなど安全にかかわる組織との連携。

【方針】学校のカリキュラムマネジメントを推進し、能動的、計画的に活用する。

### 6 太尾小学校を拠点とした、安全な太尾学区のまちづくり（安全教育・防災教育の推進）

学校を拠点として、地域の共助力を高め、防災、防犯、交通安全に関する実践力と安全確保を、子どもからも、大人からも高め合っていく。

特に地震防災に対しては、東日本大震災の教訓をもとに、学校、保護者、地域連携による地域防災拠点訓練の実践と、学校の防災教育の充実により向上させ、学校を拠点として、子どもにとって安全な、災害に強いまちづくりは地域の願いであり学校教育の責務でもある。

【方針】学校、保護者、地域連携により、安全教育・防災教育を推進する。

## ふるさと太尾構想（学校運営協議会議題）

## ～太尾小を核とした、防災まちづくりプラン～

## 学校HPでも公開

- 1 地域・保護者参画と支援
- 2 学校を核としたまちの構築
- 3 太尾小の特色ある教育活動の継続発展
- 4 多様な学校地域連携の持続発展
- 5 地域の人、もの、ことと学校のかかわり
- 6 学校を拠点とした防災まちづくり

太尾小学校 教育支援委員会  
令和6年度 ミーティング①

令和6年4月

学校運営協議会  
年4回開催

教育支援委員会  
(地域学校協働本部)

毎月開催  
連携・支援事業を企画検討  
合意形成

AGENDA

日 時…………… 令和6年 4月18日(木) 10:00  
場 所…………… 校長室  
出席者…………… 学 校 館校長先生、平野副校長先生、下倉先生(総務)  
PTA本部 波多野会長、片山夫妻副会長、福永副会長  
北村副会長、小元書記(郊外生活委員長)  
支援本部 竹崎、田嶋、中山、谷口、石倉、小田、伊藤

今後の予定 教育支援委員会会議 5/9(木)  
支援本部作業日 /

保険について  
守振会:各ボテ出  
(RGか5)  
ボランティア3  
"ぬきさ"の長も5Eにしよう  
ボランティア3:年間計画とか、この2ヶ月の  
全体像がみえてくる  
→6月のPTA総会(5/22)に  
6/15 13:00~  
体育館  
地域防災  
担当者会

●年間予定の確認・検討内容

- ・新年度教育支援委員会メンバーの自己紹介
- ・教育支援委員会会議(年間日程別紙参照)
- ・学校運営協議会(年間日程別紙参照)
- ・新一年生保護者向け入学セット(ボランティアとは、活動一覧)登録のお願い、登録用紙、  
い他をいつ配布するか?「JOIN US!」の配布方法は?
- ・創立50周年記念式典の実行委員会のメンバー選出と方向性及び日程表作成
- ・令和6年度太尾小地域防災拠点訓練の方向性を学校と協議 5月 日予定
- ・令和6年度太尾小地域防災拠点担当者会議(6月15日(土))13:00~14:30 場所:体育館
- ・ふるさとまつり実行委員会開催(6月1日(土)、7月20日(土)、8月23日(金))  
(5月には支援委員会で開催の方向性を検討)  
15:00  
14:00 ← フォンド委員会 FMDと3E
- ・ふるさとまつり第1回実行委員会(6月1日(土)) 場所: FMD
- ・ファンド委員会 第一回開催(6月1日(土))14:00~14:30 場所: FMD
- ・太尾ふるさとまつり開催(8月24日(土))予定
- ・太尾小地域防災練習会(10月19日(土))予定 体育館予約
- ・太尾小地域防災拠点訓練(11月16日(土))予定
- ・ボランティア感謝会開催(令和7年3月4日(火))

学校

PTA本部

支援本部  
(地域)

ファンド委員会  
(学校支援・地域連携行事資金)

ふるさとまつり実行委員会

見守り隊

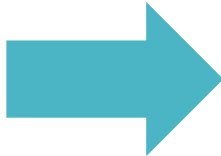
学校支援ボラ  
ンティア

お父さん  
の会

学校運営協議会  
年4回開催

教育支援委員会  
(地域学校協働本部)  
毎月開催  
連携・支援事業を企画検討  
合意形成

学校      PTA本部      支援本部  
(地域)



ファンド委員会  
(学校支援・地域連携行事資金)

ふるさとまつり実行委員会

見守り隊

お父さんの会

学校支援ボランティア

保護者の皆様

令和6年5月

横浜市立太尾小学校  
学校運営協議会会長 竹崎 理浩  
学 校 長 館 津 之

「学校支援ボランティア」について

目に華やかな新緑の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
学校支援本部では、今年度も本校のボランティア活動にご協力いただける方を募集しております。多くの方にご登録いただくことで、活動が多様化・活性化していきます。皆さまのご登録を心よりお待ちしております。  
ご協力いただける方は、別紙記入例をご参照の上、〈学校支援ボランティア登録申請書〉〈活動に関する承諾書〉にご記入いただき、担任の先生にご提出ください。  
登録は随時受け付けておりますので、よろしくお願い申し上げます。

※既にござようだいで登録済みの方は、今回再登録の必要はありません。

ボランティア紹介

- 〈緑化〉  
花作り、野菜作りを子どもたちと一緒にやってみませんか？  
植物のことを知らなくても大丈夫です。  
気持ちよく土や緑に触れられ学校もきれいになります。
- 〈見守り隊〉  
毎朝、登校時に子どもたちと顔を合わせて元気もらっています。  
子どもたちが安全に登下校できるように見守っています。
- 〈図書〉  
「できる時にできる事を」をモットーに子どもたちの読書活動のお手伝いをしています。  
◎整備：本の修理やFMDの季節の飾り付け、学級文庫作りなど楽しく活動しています。  
◎読み聞かせ：週に1回
- 〈家庭科〉  
ミシンが得意でなくても縫い方が分からなくても大丈夫。  
その場で先生の説明があり、子どもたちが安全に学習できるように見守り活動を行っています。
- 〈漢字検定〉  
年1回の検定を実施。  
当日の監督と検定に関わる作業をしています。
- 〈ちょこっとサポート〉  
すき間時間のタイミングでお手伝いできるボランティアです。  
人数が必要な時にお声がけします。
- 〈クラブ〉  
運動系と文科系のクラブがあります。  
子どもたちに自分の専門知識を伝え、少しでも楽しく上手になるお手伝いをしています。
- 〈校外〉  
遠足や校外学習で、子どもたちの引率をしています。  
子どもたちと学校外での思い出を共有できます。
- 〈学校支援本部〉  
FMDの奥の和室で楽しく活動しています。  
学校やPTAと協力・連携をとりながら、学校をより良くするお手伝いをしています。  
新メンバー随時募集中です！

太尾小学校 創立50周年事業

2024.06.13  
教育支援委員会  
検討資料

ビジョン

歴史を紡ぎ、共に育む、明日への種 児童

学校と地域（家庭を含む）が一体になって本校の歴史をつくり上げてきたこと、それを礎に未来へと繋げることを大切に、本事業を進めることで、学校と地域が共に成長し、次世代への希望を育むめるようにする。

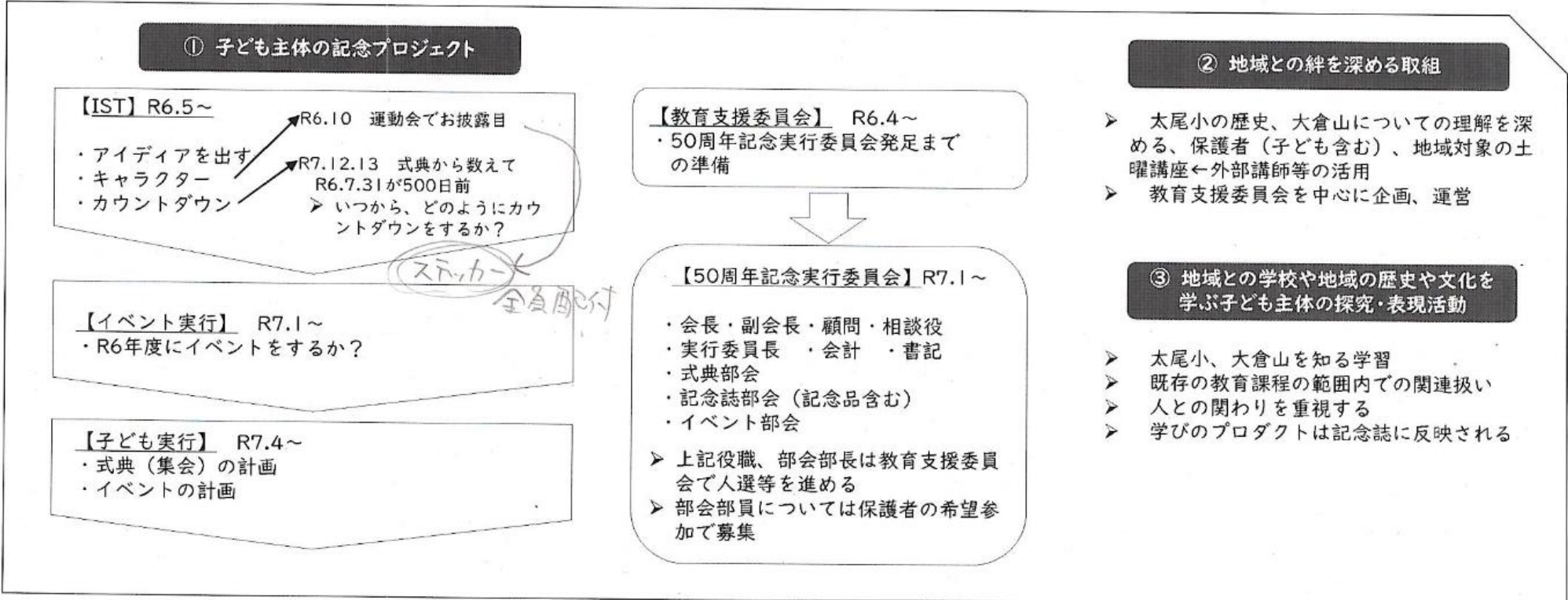
地域の中の学校、地域も一緒に成長

**内容の柱**

- 1 歴史と伝統の継承
- 2 現在の教育の
- 3 未来への展望

**活動の3つの柱**

- ① 子ども主体の記念プロジェクト
- ② 地域との絆を深める取組
- ③ 学校や地域の歴史や文化を学ぶ子ども主体の探究・表現活動



太尾小学校 教育支援委員会  
令和6年度 ミーティング③

太尾小学校 教育支援委員会  
令和6年度 ミーティング④

令和6年7月

令和6年6月

AGENDA

日時..... 令和6年 6月13日(木) 10:00  
場所..... 校長室  
出席者..... 学校 館校長先生、平野副校長先生、下倉先生(総務)  
PTA本部 波多野会長、片山夫妻副会長、福永副会長  
北村副会長、小元書記(校外生活委員長)  
支援本部 竹崎、田嶋、中山、谷口、石倉、小田、伊藤、渡邊

今後の予定 教育支援委員会会議 7/11(木)  
支援本部作業日 /

AGENDA

日時..... 令和6年 7月11日(木) 10:00  
場所..... 校長室  
出席者..... 学校 館校長先生、平野副校長先生、下倉先生(総務) 福原  
PTA本部 波多野会長、片山副会長、福永副会長  
北村副会長、小元書記(校外生活委員長)  
支援本部 竹崎、田嶋、中山、谷口、石倉、小田、伊藤、渡邊

今後の予定 教育支援委員会会議 9/12(木)  
支援本部作業日 /

●確認事項

- ・第1回ふるさと太尾地域防災拠点運営委員会 6月15日(土) 13~14:30 場所: 体育館  
本年度拠点訓練の内容・拠点及び運営委員の役割等の説明・組織図・各班の業務説明他
- ・スクールゾーン対策協議会 7月12日(金) 場所: FMD  
見守り隊総会(6月4日)の報告
- ・第二回ふるさとまつり実行委員会 7月20日(土) 15:00~ 場所: FMD  
その後の進捗状況(出店・品目、演目(マーチング他))
- ・創立50周年記念の進捗状況

●確認事項

- ・スクールゾーン対策協議会 7月12日(金) 10~12:00 場所: FMD
- ・第二回ふるさとまつり実行委員会 7月20日(土) 15:00~14:30 場所  
その後の進捗状況(出店・品目、演目(マーチング他))、熱中症対策
- ・創立50周年記念の進捗状況
- ・漢字検定 8月21日(水)

●PTA本部の活動報告

- ・子供110番の家進捗状況
- ・岩石園の活動報告
- ・見守り隊総会(6月4日)の報告

連合町会 青少年の育成のため  
大倉山地区すまいる連盟  
新横浜公園に土俵  
PUSH  
↓  
青少年部会  
お手伝い  
周知の注意  
筆名・署名

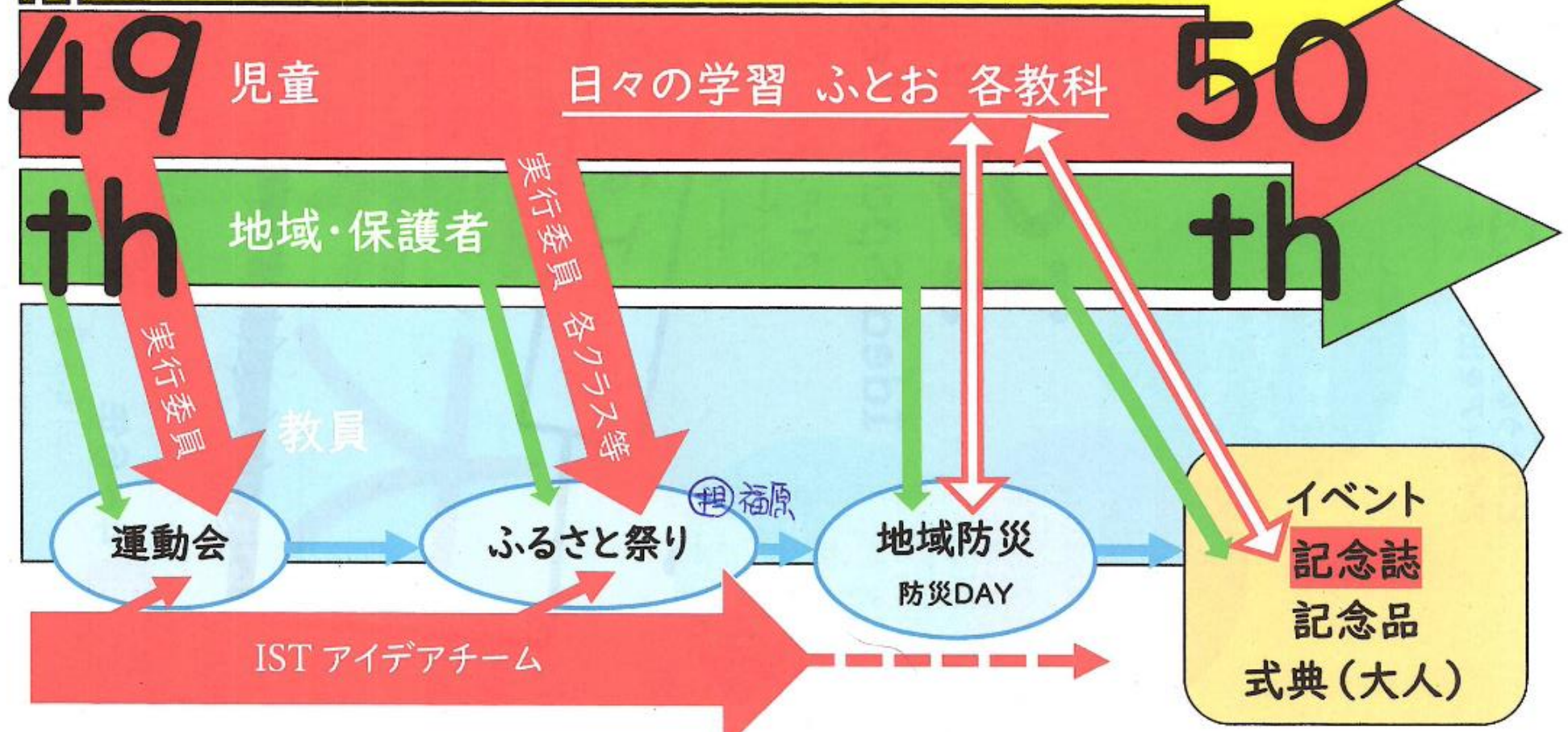
6/1, 2, 3の3回に使用する=とE周知  
応募 80~90人くらい

●PTA本部の活動報告

- ・子供110番の家進捗状況
- ・岩石園の活動報告

# Road to Futo 50th

歴史を学び ともに未来をひらく



## 取組成果

### (3) 「学校と地域のまつり」で地域社会再生

#### 取組のポイント

#### C 授業参観と共催の地域防災訓練

##### 学校拠点地域まつり

(職員への負担が少なく、児童・保護者・職員・地域が一体になり防災を学ぶ)

**(1) 学校経営と学校運営協議会の両輪関係**

**(2) 校長等ファシリテーションができていることが前提**

令和6年度 地域防災拠点訓練及び土曜授業参観

2024/10/ ver.

活動の3つの柱

【地域防災拠点エリア】・地域防災拠点訓練に子どもが参加する従前の活動

【子どもからの発信等】・総合の活動からの発表・教科学習の中での発信

【ワークショップ等】・昨年度まで教室で行っていた防災授業（教師の指導による）・外部講師（保護者）を含む

11月16日(土) 一日の流れ

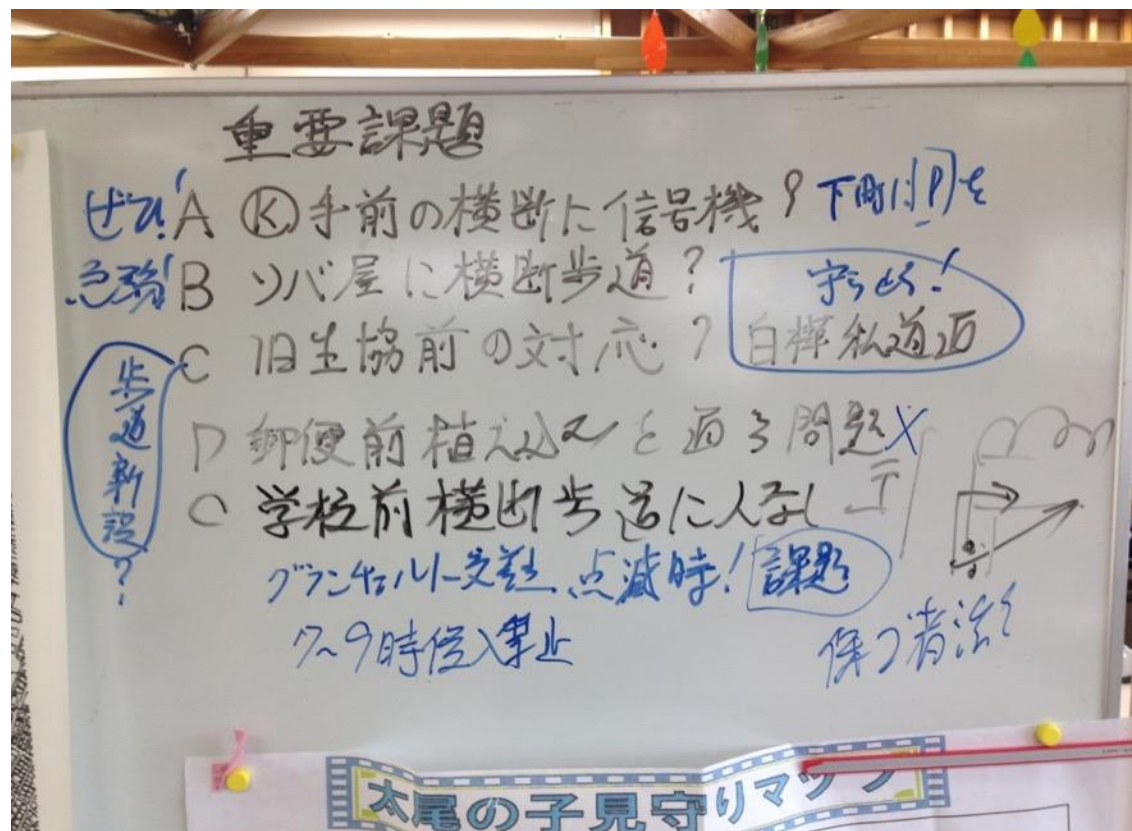
家庭防災訓練		初期対応訓練	避難概要		防災学習・見学・体験	授業参観	給食	下校
8:45	9:00		9:20	9:50~	10:00~11:20	低11:25~12:10 高11:30~12:15	低12:10~13:00 高12:15~13:05	低13:10 高13:15
各家庭で災害時の対応について確認	地震発生メール配信	初期対応訓練 避難場所、自治会集合住宅	学校へ向かう	避難概要（TV放送）	防災学習 1年 防災グッズ作り PTA参加 保護者参加可能  防災学習(講師) 2年 救護ボーイスカウト(福永)	(各教科)	給食	下校
					防災学習(担任) 2年 内容: 防災クイズ・新聞紙スリッパづくり 2クラス30分ずつ			
					防災学習 3~6年 グループごとにブースを回る ※6年2組 出展 3年消防新聞掲示?			





地域見守り隊と保護者の連携確立

- ・これまでうまく連携していなかった
- ・保護者が見守り隊を地区ごとに招待
- ・地区の交通安全課題を解決
- ・一致した行動を決めるファシリテーション
- ・この結果で、学校指導、地域保護者指導を共通化、徹底



2015年太尾小の映像

# 学校HPから公開

# 実質的な「地区防災計画」？



## ふるさと太尾防災 震災時行動マニュアル 保存版

～太尾小学校学区において住民が自助、共助の精神で、町の未来をひらくための指針～  
 平成27年度版 太尾小学校地域防災拠点本部

このマニュアルは、太尾小学区に特化した想定のもと、地域防災拠点を中心とした防災行動の共通理解事項としてまとめたものです。また、地域防災力向上のための指針としての性質もあります。

地震災害のリスクは、各地域、世帯ごとに異なるので、各世帯の最善の行動を考える参考資料としてご活用ください。

「ふるさと太尾防災」とは

【理念】「小学校を拠点とした学区のまちづくり」の理念に基づき、子どもを、まちを、地震災害から守るために地域、学校、保護者が連携して取り組む防災プラン。

【構成】既存の町内会・自治会に加え、学区の住民の力を占めるようになった新しいマンション群も地域防災に迎え、地域、学校、保護者組織も協議して推進。

【活動】地域防災拠点訓練 太尾小学校ふるさとまつり 学校・地域連携総合防災訓練 ふるさと太尾教育・防災協議会 学校での防災教育授業

【文書】ふるさと太尾構想 ふるさと太尾防災震災時行動マニュアル 地域防災拠点運営マニュアル 家庭防災マニュアル (地域・学校職員連携)

[ ]…小学校の教科関連や総合において、重点的に学習することが可能な学年・教科

### この町の災害リスク ～ゆれは大きく、強風下の火災は最大リスク～ [6]

- 地震動** 大倉山の台地から離れるほど、基盤の固い地層まで深くなっており、その上はたいへん柔らかい地層でできているため、大きなゆれになる可能性があります。大きなゆれを想定した備えが必要です。[6理]
- 家屋の倒壊**  
1981年以降の新耐震基準で建てられた耐震性のよい建物は倒壊の危険は小さいとされていますが、揺れ方や地盤によっては、被害が大きくなる可能性があります。1981年以前の基準で建てられた建物は、地盤の悪さも加われば、倒壊する可能性がありますので、耐震診断を受け、必要があれば耐震補強することが望ましいです。
- 家具転倒** 家具転倒による、死亡、負傷を防ぐためには家具の転倒防止が欠かせません。
- 火災** 火災は最大のリスクです。消防隊の対応が期待できないので、市民による初期消火にいち早く迅速に、多人数で当たるかが、二次災害防止のカギとなります。延焼が拡大した場合、広域避難場所などへ早期に避難することが大切です。各地区で、火災延焼が拡大した場合の避難場所、避難ルートを確認しておきましょう。
- 液状化** 学区の地層は砂の地層もあるため、液状化による不同沈下、下水などのライフラインがダメージを受ける可能性もあります。
- 津波** 元禄型関東地震などによる東京湾の津波と、鶴見川の津波遡上は考えられますが、津波により壊滅するということは想定されていません。

学校ホームページに防災行動マニュアル

- 1 学校行事に位置づけ、職員も勤務として参加。代休もあるので職員への負担が少ない。
- 2 北綱島方式を太尾小も導入、地域防災訓練の項目を学年ごとに割り振り、保護者も体験する。
- 3 太尾小学校では、学校のホームページに防災マニュアル。  
災害リスクを地域の各層に防災教育し、地域の防災文化を高めていくことができる。



太尾小 授業参観共催・地域防災拠点

## 取組成果

- (1) 学校運営協議会と学校経営のPDCAサイクルが噛み合うこと  
→学校目標実現に向けた取組が深化

(取組のポイント)

## A 学校職員が創出し

- 学校運営協議会にて協議、承認、助言、支援するサイクル
- ・学校経営方針・教育課程・予算・地域防災・登下校安全
  - ・いじめ防止対策・学校評価

B 学校運営協議会における校長の役割は、学校職員、保護者、地域などの主体的参画を促し、合意形成を創出する「ファシリテーター」

**学校運営協議会の落とし穴**

・校長と地域で密室決定→職員の下請け化→学校も学校運営協議会も「形骸化」

## 取組成果

### (2) 学校安全のための連携

登下校、いじめ防止対策、防災教育への連携が深化

(取組のポイント)

C 防災・安全へのを議題として行動計画を決定

**子どもの安全のために学校、保護者、関係機関の連携を構築  
学校運営協議会は、この協議の場として機能できる！**

地域学校協働組織

学校防災・地域防災連携組織

学校運営協議会

学校運営協議会

地域防災拠点  
運営委員会

学校

PTA本部  
(保護者)

地域  
(地域防災)

学校の運営に参画する  
・地域住民  
・保護者  
・学識経験者  
・教職員 で構成する会  
学校運営に関する  
発言権がある

防災

地域責任者(自治会長)

1995年発足

学校・地域コーディネーター

学校防災

北つなほっこりサポーター  
・教育支援・環境整備  
図書ボランティア・花ボランティア

2010年発足

教職員は防災が各カリキュラムに分散されており  
無理なく 防災学習に取り組める。  
防災に関する授業によって 子どもたちの成長が  
如実に実感できるため  
教職員の防災に関する 熱意が高い！

北つな  
夏祭り

授業参観共催  
地域防災拠点訓練

引用：北綱島小地域防災拠点訓練「座学」資料

表2 北網島小学校の中期学校経営方針における学校防災関連の重点取組の変遷

年度	地域連携	安全防災教育
2013.4 平成25年度   2016.3 平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会設置校として、地域、家庭との連携を実現し、学校への理解と支援、学校からも施設提供や<u>防災教育</u>の推進により、地域貢献を進めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校時間帯の震災に適切な対応ができる体制づくりと、身を守る児童の教育を推進しています。</li> <li>帰宅後の被災に、地域、家庭との連携をもとに、自助、共助を実践できる<u>防災教育</u>を実践しています。</li> </ul> <p>※この期間の重点取組分野の名称は防災教育</p>
2016.4 平成28年度   2019.3 平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営協議会を通して、地域、家庭との連携を強化し、共に<u>防災教育</u>や地域の教育力を活用した学習活動を充実させ、地域に開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校時間帯の災害に適切な対応ができる体制づくりと、訓練の質の向上を図る。</li> <li>学校、家庭、地域の連携のもと、「きたつな防災プラン」をPDCAサイクルで見直し、様々な危険から身を守る<u>防災教育</u>の充実を図る。</li> </ul>
2019.4 令和元年度   2022.3 令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域とのつながりを更に深められるように、地域コーディネーターと連絡を取り合いながら、学習の中で児童と地域の方がふれあう場面を意図的、計画的に取り入れるようにする。</li> <li>ほっこりサポーターの認知度を高め、協力者を増やして、より一層連携を進めていくようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北網安全防災プラン」に基づいた<u>安全防災に関するカリキュラム</u>の作成をする。全教科において、安全防災に関わる視点を取り入れていく。</li> <li>地域保護者参画の学校総合防災訓練を実施し、「<u>地域防災</u>」をテーマに地域と学校の連携がより強化できるようにする。</li> <li>新しい想定 of 避難訓練を計画・実施していくことで、児童が主体的に判断し行動できるようにする。</li> </ul>

注) 表中の下線太字は、学校防災に関連するキーワードを示す。



北綱島小地域防災拠点訓練  
2019

訓練風景 全体



初期消火訓練訓練 初期消火訓練 スタンドパイプ式初期消火器・水消火器・バケツリレー



スタンドパイプ初期消火器体験訓練



バケツリレー訓練



水消火器体験訓練

引用：北網島小地域防災拠点訓練「座学」資料

救護訓練

救出訓練・救護訓練・搬送訓練



毛布による搬送訓練



応急手当訓練

救出訓練



エンジンカッター取り扱い訓練



ジャッキアップ訓練



引用：北網島小地域防災拠点訓練「座学」資料

表4 平成26年度 防災教育年間取組計画一覧（北網防災プログラム2014）

月	児童（行事）	職員	保護者
4月	4/18 避難訓練（火災）	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校対応マニュアル配布</li> <li>「きたつな防災プログラム2014」配布</li> <li>引き取りカード印刷配布・集約</li> <li>特別支援学校との防災計画・初期消火体制打合せ 初期消火班編成</li> <li>「きたつな防災横浜の時間プラン」に基づく学年防災計画立案（学校歴に位置付け）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「風水害地震等に対する登下校対応マニュアル」確認</li> <li>「引き取り訓練想定家庭防災会議」（懇談会にて説明）</li> </ul>
5月	5/9 避難訓練（火災） （特別支援学校と合同） <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校と連動の火災報知器作動訓練</li> <li>初期消火班確認</li> <li>避難ルート確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研「震災時帰宅・学校宿泊・参集想定訓練」</li> <li>安全教育委員会「総合防災訓練」「職員研修」検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育推進委員会（1）</li> <li>「きたつな防災プログラム2014」確認</li> <li>学校防災訓練への保護者参観体制確認</li> </ul>
6月	6/28（土）総合防災訓練・防災授業参観（土曜日実施） 3校時：授業参観 4校時：学校総合防災訓練 保護者参観 保護者初期消火活動体験 引き取り訓練など	<ul style="list-style-type: none"> <li>6/13「消火器・消火ホース、消火弾、救出用具、防災シャッター、給水タンクの使用方法」</li> <li>6/23職員各班防災訓練 「総合防災訓練に向けて～在校時間帯の災害に対する動き方～」</li> <li>6/28総合防災訓練（土曜日開催） 4校時：避難訓練 6年生バケツリレー成果発表、保護者地区で初期消火・バケツリレー体験支援など （別日）職員心肺蘇生法訓練</li> <li>安全教育委員会「全校防災学習」実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災訓練・防災授業参観（土曜日実施）</li> <li>防災教育推進委員会（2）</li> <li>「家庭防災マニュアル」検討</li> <li>「地域防災拠点訓練への保護者参加」検討</li> </ul>
7月	全校防災学習（特活1時間） 「地震・火山・洪水・竜巻・津波などをテーマにした視聴覚教材視聴と授業」（安全部）	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校防災学習（特活1時間）</li> <li>職員防災研修</li> <li>7/25 地域理解と想定 DIG「学区の地形・地質・土地利用・災害リスクと広域避難所」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内の耐震化促進</li> <li>耐震性チェック</li> <li>家具固定</li> <li>備蓄</li> <li>初期消火用具整備</li> <li>防災グッズ整備など</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭防災会議</li> <li>家庭防災マニュアルづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育委員会「地域防災拠点訓練」実施計画検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭防災マニュアルづくり</li> <li>1, 2年 親子で考える</li> <li>家庭防災会議</li> <li>3年以上は原案作成</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭防災マニュアルづくり</li> <li>3～6年 昨年度のものをベースに家庭防災会議の原案として学校の授業で考える。地区ごとの子どもで考えるなど。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9/9 職員各班防災会議 児童帰宅後時間帯発生時の動き 「地域防災拠点訓練に向けて」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭防災マニュアルづくり</li> <li>1, 2年 親子で考える</li> <li>家庭防災会議</li> <li>3年以上は原案作成</li> </ul>
10月	10/26（日）地域防災拠点訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭内避難訓練</li> <li>近隣初期対応訓練</li> <li>地域防災拠点訓練見学</li> <li>防災授業参観</li> <li>引き取り訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10/10 職員各班防災会議（拡大）</li> <li>職員と地域防災拠点との打合せ</li> <li>10/26（日）地域防災拠点訓練</li> <li>職員各班は防災拠点開設支援</li> <li>図上演習に基づき学校の各施設の割り振り</li> <li>児童指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10/26（日）地域防災拠点訓練</li> <li>家庭内避難訓練</li> <li>近隣初期対応訓練</li> <li>地域防災拠点訓練参加</li> <li>防災授業参観</li> <li>引き取り訓練</li> </ul>
11月	10/31 火災 特別支援学校との合同防災訓練（第2回）（小学生が支援学校に在学中）	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学校との打ち合わせ</li> <li>支援学校に交流中の児童の避難・保護訓練</li> </ul>	
12月	12/4朝 避難訓練（地震）登下校路での震災想定訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育委員会「きたつな防災プログラム2014」反省まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町餅つき大会</li> </ul>
1月	火災煙想定訓練 （防火シャッター・予告なし）	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育委員会「きたつな防災プログラム2015」原案検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育推進委員会（3）</li> <li>「地域防災拠点訓練図上演習」と共催</li> </ul>
2月	1月訓練予備日	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年 きたつな防災「横浜の時間」プランに基づく学年防災教育計画振り返り</li> <li>次年度への引継ぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育推進委員会（4）</li> <li>「きたつな防災プログラム2015」協議決定</li> </ul>
3月	-	-	-

## 北綱島小学校 令和6年度きたつな安全防災プログラム2024

## (安全防災教育年間取組計画)

「きたつな」らしい学校・家庭・地域連携に基づく安全防災教育の推進

2011年3月11日の東日本大震災を経験して、本校も多くの防災教育上の課題に直面した。特に、次の三点の課題が浮き彫りになってきた。

## 【きたつな安全防災のもととなる課題意識】

- (1) 学校にいる間に起きた大地震や地震火災から子どもを守り抜くにはどうしたらよいか？
- (2) 子どもが8割の時間を過ごす家庭での地震被災に対して、子どもにどのように自助力を育てるのか？
- (3) 地盤の軟弱さ、火災延焼リスクの高さなど、学区地域の災害リスクから子どもと町を守るために、学校、家庭、地域はどのように連携して、自助、共助の力を高めていくのか？

課題に対して、学校は、学校運営協議会を中心に、保護者の皆様、地域防災拠点の皆様と共に、協議しながら実践を積み重ねてきた。それが本校の特色である、「きたつな」らしい学校・家庭・地域連携に基づく安全防災教育＝「きたつな安全防災」である。

## 1 基本方針

「よこはま地震防災市民憲章」「横浜市学校防災計画」「横浜市防災教育の指針」「北綱島小学校学校教育目標」「北綱島小学校中期学校経営方針」に基づき、学校・家庭・地域の連携を構築し、本校の立地条件、災害リスクに対応して、「いつでも、どこでも、何があっても」生き抜く力を育成する。

## 2 安全防災教育実践の内容

- (1) 学校、家庭、地域で共通理解した「きたつな安全防災プログラム」に基づき、年間を通して安全防災教育活動を実施し、PDCAサイクルで次年度につなげる。
- (2) 「きたつな安全防災三原則」や「きたつな安全防災マニュアル」に基づき、学校、家庭、地域での組織的な防災活動を通して実践力を育てるとともに自助・共助の力を高める。  
「学校で、家庭で、地域で生き抜く」とする「きたつな安全防災三原則」と、この地域の災害リスクに対してとるべき行動についての「きたつな安全防災マニュアル」をベースに、学校、家庭、地域で組織的な活動を体験し、安全防災行動の実践力を養う。
- (3) 「きたつな安全防災プラン」をPDCAサイクルで推進し、綱島の町で生き抜くための資質・能力を育成し、自助・共助の力を高める。
  - 1 「きたつな安全防災プラン」とは、「いつでも、どこでも、何があっても」自分の命や他者の命を大切に、学校で家庭で地域で生き抜く力を養うために(目的)、子どもが主体的・協働的に、人や事象、地域と関わり、問題を見つけ探究することを通して(手段)、安全や防災に関する知識や技能を身につけ、自助・共助の心情や態度を養う(資質・能力)ためのカリキュラム。
  - 2 本プランをもとに、安全防災教育を教科等に関連させたり、総合的な学習の時間に位置付けたりして計画的、創造的に授業実践を行う。



学校総合防災訓練：初期消火訓練のパケツリレーに参加する保護者

VI-1-(6)-1



きたつな安全防災プランに基づく学習：「子ども110番の家」の方にインタビューする2年生

## きたつな安全防災三原則

## ① 「きたつな安全防災プラン」に基づき日頃の訓練や学習を活かして生き抜く

訓練を豊かな体験と位置づけ、各教科等とも関連付けて、児童が主体的、協働的に学びながら、自他の命を守るために的確な行動をとれるよう実践力を育てるとともに、教職員の対応力の向上も図る。

## ② 「きたつな安全防災マニュアル」に基づき家族みんなで生き抜く

※「きたつな安全防災マニュアル」：本校ホームページに掲載  
子どもが学校にいる時間は、一年間の2割以下である。つまり、8割方は帰宅後に被災する。したがって、自宅などで被災した場合の実践力を育てる必要がある。本校はこの問題に真剣に取り組んで、学校、家庭、地域の連携による安全防災教育を進めている。

ア 家庭の災害対応力を高めるための取り組みを多面的に実施する。

イ 全児童に、「家庭防災会議」を行い、「家庭防災チェック表」を作成することを課題とする。

ウ 「家庭内避難訓練」は、地域防災拠点訓練の当日朝8時30分とする。「地震発生」のメール配信で、まず、家の中で身の安全を図り、出火防止、初期消火の想定、一時避難場所への移動などを始める。

## ③ 隣近所で助け合って生き抜く

「学校運営協議会」を基盤に、PTA役員、各委員長、地域防災拠点運営委員会、学校の参加により、安全防災教育の方針を協議する。これに基づいて、「きたつな安全防災プログラム」「きたつな安全防災マニュアル」などの共通理解を確立して取り組んでいく。また、地域防災拠点運営委員会に学校とPTAの代表が参加して、地域防災に参画することを実現している。地域防災拠点訓練には、全児童が参加する。

## 3 令和5年度「きたつな防災プログラム2023」成果

- (1) 児童、職員は下校中に被災する想定の実験をし、防災意識を高めて災害に備えられるようにした。
- (2) PTA役員、運営委員と連携した防災教育の推進をした。
- (3) 「きたつな安全防災プラン全学年一覧」に国語の視点を加えたものを活用した学習ができた。
- (4) 学校安全教育推進校として、全市に向けて地域防災拠点訓練を公開した。
- (5) 学校総合防災訓練で、保護者参加型の訓練を計画・実施することができた。

## 4 令和6年度の課題

- (1) 児童への指導、学校職員の活動、保護者の参画についてのわかりやすい「きたつな防災プログラム」を共有する。
- (2) カリキュラムマネジメントと「きたつな防災プラン」のPDCAサイクルを進める。
- (3) 学校総合防災訓練、地域防災拠点訓練における保護者の参加意識を向上させる。  
・令和5年度から土曜日開催にしたが、欠席者数については日曜日開催と大きくは変わらなかった。
- (4) 地域防災拠点訓練において、各学年で体験活動の見直し。
- (5) 中学校との連携、中学生の防災訓練参加を促進する。
- (6) 震度による被害の大きさとその避難の仕方を教える。  
→震度の目安表を活用し、避難訓練も震度を意識したものにす。

VI-1-(6)-2

## 避難訓練予定

	職員	児童	地域
4月	職員体制の確認	避難訓練（火災）	
5月		特支合同訓練（大地震と火災） 防犯訓練（授業中）	
6月		引き取り訓練	
7月			
8月	職員研修（防犯） 隔年：R6年度実施		
9月		特支合同訓練（大地震と火災）	
10月	拠点開設	地域防災拠点訓練	地域防災拠点
11月		防犯訓練（休み時間中）	
12月		朝会時避難訓練 （下校→掃除→教室内3カ年計画）	
1月		縦割班×シャッター避難訓練	
2月		予告なし避難訓練（児童・職員）	
3月	職員研修（反省）		



## 北綱島小学校「安心・安全ずっと大好き北綱のまち（横浜の時間）」系統表／関連事項一覧 2024.5.6改訂版 変更 検討中

	R3までのテーマ	R6 テーマ 探究課題の分類	関わる人・こと・もの (~R3実績含め)	探究課題 3・4年生「環境」・「安全・防災」 5・6年生「安全・防災」・「福祉」・「町づくり」	安全防災授業(5月) 系統的に安全防災授業を進めていく ための授業(案)	地域防災拠点訓練 (10月)	学習テーマの 系統性	学びの 系統性
個別	1年生	大好き まちの人	学援隊 ほっこりサポーター		こんなときどうする?学校の教室 大きな地震が起きた際の身を守る判断・行動	起震車 新聞紙スリッパ	地域と出会う	楽しむ。 「学び」を
	2年生	守ってくれる まちの人	安全×子ども110番 ほっこりサポーター		こんなときどうする?学校の教室外 大きな地震が起きた際の身を守る判断・行動	要援護者人形劇 ビニールポンチョ		
	3年生	まちとなかよし <b>防災× まちのようす (地理的環境・自然の視点から)</b>	「水と緑の学校」 ⇒鶴見川流域センター	地域の自然環境の魅力と、それにかかわる人々の思いや願い。 カリマネ:社会科内容(1)身近な地域の地理的環境、(3)地域の安全を守るための諸活動 理科:身の回りの生物	こんなときどうする? 登下校中 大きな地震が起きた際の身を守る判断・行動	災害用トイレ 緊急給水栓訓練見学	(経験値を積む) 安全防災を知る	「学び方」を 経験する。
	4年生	安心・安全なまち	「鶴見川」のあるまち ⇒風水害被害 ⇒港北区役所 ⇒鶴見川流域センター 家庭防災員	まちの防災に携わる人々の思いや願いと、地域社会に参画するよさ カリマネ:社会科内容(3)自然災害から人々を守る活動	こんなときどうする? その場に合った身を守るための判断・行動編 (自宅・外・電車やバス・劇場や映画館・エレベーター・地下街、他)	(消火器訓練) 風水害ビデオ 浸水被害 AR 水害体験談		
	5年生	家庭防災	地域の方々 飯田さん(米作り) (高齢者、特別支援学校要支援者)	身の回りの様々な立場の人々とその暮らしを支える仕組みや人々の思いや願いと、地域の多様な他者と関わりながら地域を守ることで社会参画する意義 カリマネ:社会科内容(5)自然災害と日本の国土の自然条件	大きな地震が起きたら、何を持ち出す? (災害時シュミレーション) 避難を伴う災害時において、避難する際に持って行く「もの」あ、人・家族によって異なり、事前に準備することが大切。準備ができていない場合は、「もの」を持って行くことよりも、いのちを守ることを最優先に、避難することが重要であることを学ぶ。	要援護者体験学習 搬出訓練⇒4年生? 応急手当 避難所運営について	(経験値の活用) 地域に働きかける	自分たちで回す。 「学び方」を
	6年生	防災リーダー	高齢者、特別支援学校要支援者 地域の方々 拠点訓練委員の方々	防災のための安全なまちづくりに関わる人々の願いや想いと、地域の多様な他者と関わりながら地域を守ることで社会参画する意義 カリマネ:社会科内容(1)社会保障の取組(高齢者や障害者生活支援や介護、医療の充実、子育て支援、等)	※第4期港北地区地域福祉保健計画(ひとつプラン港北)で綱島地区がより力を入れているのが「顔の見える関係づくり」 ⇒「顔の見える関係づくり」は、地域の現状と課題をどのように変えていけるのか。	運営として、参画可能なプースに入る。 総合的な学習の時間の課題に応じて		自分たちで回す。 今までの経験を活かして「学び方」を
個別	身の回りの安全	安全防災×関わり	学援隊 ほっこりサポーター		「こんなときどうする?」 ※家庭防災マニュアルをもとに、大きな地震が来たら、どのように行動したらよいか考える。		出会う〜知る〜 関わる	「学び」を楽しむ 〜経験する〜自分たちで回す

## 1年生・個別級



## 2年生

学年	R3までのテーマ	R4 テーマ	関わる人・こと・もの	探求課題 (H30 全体計画より)	安全防災授業	学習のテーマの系統性	学び方の系統性
1年生	大好きなまちの人	安全×学援隊	学援隊 ほっこりサポーター		「こんなときどうする？」 ※教室の中で大きな地震が来たらどうしたらよいか考える。地震以外の災害の場合も考える	地域と出会う	学びを楽しむ
2年生	守ってくれるまちの人	安全×子ども110番の家	子ども110番の家 ほっこりサポーター		「こんなときどうする？」 ※教室以外の場所で地震が起きたらどうしたらよいか考える。		

学年	R3までのテーマ	R4 テーマ	関わる人・こと・もの	探求課題 (H30 全体計画より)	安全防災授業	学習のテーマの系統性	学び方の系統性
個別	身の周りの安全	安全防災×関わり	学援隊 ほっこりサポーター		「こんなときどうする？」 ※教室の中で大きな地震が来たらどうしたらよいか考える。地震以外の災害の場合も考える	出会う～ 知る～ 関わる	「学び」を楽しむ～ 経験する～ 自分たちで回す

引用：北網島小地域防災拠点訓練「座学」資料



網島の水害の体験談  
地域の方々による



3年生  
防災トイレの学習



ジャッキアップによる救出体験



消火器による初期消火訓練

4年生

学年	R3までのテーマ	R4 テーマ	関わる人・こと・もの	探求課題 (H30 全体計画より)	安全防災授業	学習のテーマの系統性	学び方の系統性
3年生	まちとなかよし	防災×川	消防団 水と緑の学校	地域の自然環境の魅力と それにかかわる人々の情熱や願い。防災(洪水)のための安全なまちづくりとその取り組み。	「地震の大きさの表し方を知ろう ①」※地震の揺れは震度で表され それぞれの揺れや感じ方やまわりの様子がどのようになるのかについて知る	安全防災を知る (経験値を積む)	学び方を 経験する
4年生	安心・安全なまち	防災×自助	家庭防災員 非常持ち出し袋 非常食	家庭防災のための備えと安全なまちづくりに取り組む人々の願いや願い。	「地震の大きさの表し方を知ろう ②」※横浜の近くで規模が大きい地震が起きたときは 生活にどんな影響が起きるか考える。		





5年生

6年生



学年	R3までのテーマ	R4 テーマ	関わる人・こと・もの	探求課題 (H30 全体計画より)	安全防災授業	学習のテーマの系統性	学び方の系統性
5年生	家庭防災	防災×共助	高齢者 特別支援学校 要支援者 飯田さん(米作り)	身の周りの高齢者や様々な立場の人々とその暮らしを支援する仕組みや人々の思いや願い	「地震が起こるしくみを理解しよう」※地震は地下の岩石に大きな力が働き起きていることを知り日本周辺には地震が多いことを理解する。	地域に働きかける (経験値の活用)	「学び方を」 自分たちで回す
6年生	防災リーダー	防災×自助	地域の方々 拠点運営委員の方々	防災のための安全な町づくりとその取り組みや そこに関わる人々の願いや思い	「災害を知ろう/過去から学ぼう」 ※関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災。熊本地震について調べ それぞれの地震の規模や被害を知り、大地震に備えてできることを考える		5年生までの経験を 活かして 「学び方」を回す





引用：北網島小地域防災拠点訓練「座学」資料

現在位置: [ホーム](#) > 地域防災拠点訓練

- > 学校紹介
- > 学校経営
- > 今日のきつな
- > 新入学に向けての準備
- > 転入手続きについて
- > 各種調査結果
- > PTAよりお知らせ
- > 教育相談
- > 各種警報発令時の対応
- > 地域防災拠点訓練
- > 令和2年度
- > いじめ防止基本方針
- > ほっこりサポーター

## リンク集

[横浜市教育委員会](#)  
[北綱島小学校PTA](#)

横浜市の学校で  
働きませんか?  
[詳細はこちらをクリック!](#)

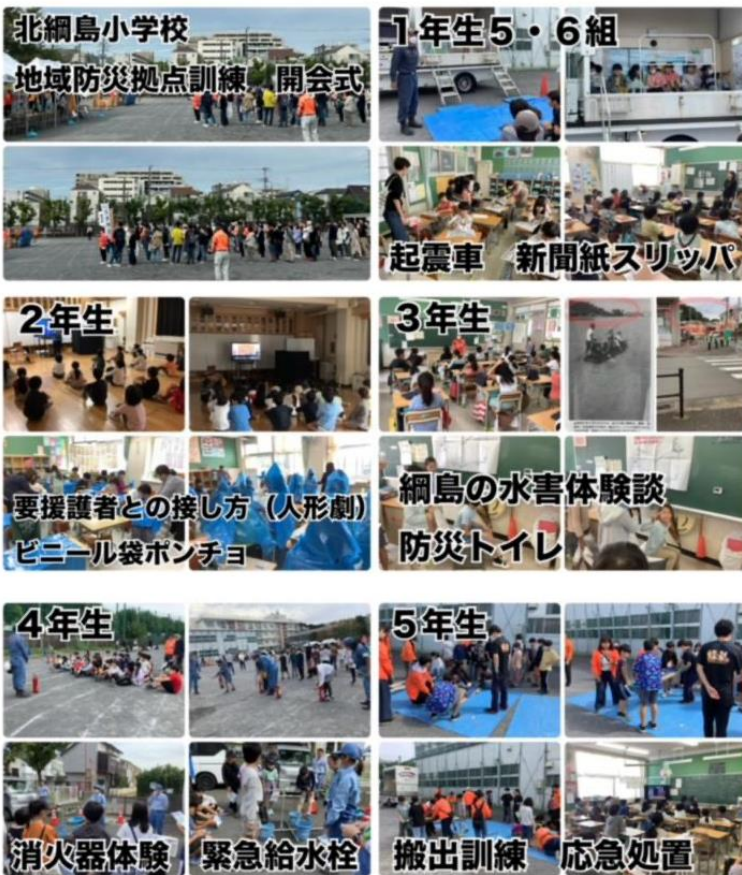
横浜市立学校  
空気の見える化  
プロジェクト

## 令和5年 地域防災拠点訓練

10月14日(土) 地域防災拠点訓練が開催されました。

8:30 首都圏直下型地震と考えられる震度7の地震が発生。各家庭で避難訓練を実施して、保護者とともに拠点である北綱島小学校に集まりました。

消防署、社会福祉協議会、水道局、そして地域の方々のご協力をいただき、各学年で安全防災に関する様々な体験をしました。写真と共にご紹介します。



各関係機関の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

**当拠点は海拔が比較的低く 水害時には防災拠点として開設できません！**

このため 下記のようなパンフレットを近隣住民に周知いただくため 回覧板等での周知を行いました。

※今年5月に警戒レベルの表現が変更になっています。

### 水害・土砂災害の避難について

市町村が出す避難情報と 国や都道府県が出す防災気象情報が5段階に整理されました。

**警戒レベル④**で避難指示の対象区域の方は**全員避難!!** (何の防災気象情報によって、どこに発令された避難情報かよく確認してください！)

警戒レベル	避難情報	防災気象情報	避難行動等	避難所 他
警戒レベル5 既に災害発生	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令 (市町村が発令)	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 等	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	
警戒レベル4 対象区域の方は全員避難	避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急又は重ねて避難を促す場合等に発令 (市町村が発令)	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	避難指示対象区域の方は、速やかに全員避難。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	対象者は避難場所へ
警戒レベル3 対象区域の方で高齢者等は避難	高齢者等避難 避難準備 (市町村が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警戒情報 等	高齢者等避難開始・避難準備対象区域の方で、避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は準備を整えましょう。	対象者は指定緊急避難場所へ 駒林小学校 高田東小学校 日吉台小学校
警戒レベル2	これらは住民が自主的に避難行動をとるための参考とする情報	洪水注意情報 大雨注意情報 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。	※上記以外に任意の避難場所として、網島地区センター・上町会館を開設することがあります。(開設する避難場所は災害規模によって異なります。)
警戒レベル1		早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。	

北網島小学校については、鶴見川や早瀬川氾濫時の洪水浸水想定区域となっており、洪水時には指定緊急避難場所として開設することは困難と区(市)では判断しており、避難場所を開設することは原則できません!!

【警戒レベル-3】や【警戒レベル-4】で地域のみみんなで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう!!

避難に関する情報は、市や区のホームページ、ツイッター、港北区防災情報アプリ、テレビのdボタンで確認することができます。

北網島小学校地域防災拠点運営委員会

#### ◆風水害時の避難行動(避難のサイン)を確認しましょう!

小石がバラバラ落下するなどのがけ崩れの前兆現象や、下水道などからの浸水、河川の氾濫情報、避難勧告、避難準備・高齢者等避難開始といった【避難のサイン】を参考に「自らの判断」で「自らの命は自らで守る」という考えのもと、危険がせまる前に早めに避難を開始しましょう!

#### 避難のサイン(情報は早めに)

- 下水道などからの浸水
- 河川氾濫の危険
  - テレビ・ラジオ・横浜市HPなどで気象情報に注意しましょう。
  - 横浜市HPなどで河川の状況を確認しましょう。
  - 外の様子に注意しましょう。
  - ※側溝やマンホールから大量の水があふれる。
- 横浜市防災情報eメール
  - http://www.bousai-mail.jp/yokohama/
  - 身近に迫っている緊急情報をリアルタイムに知らせます。
  - QRコードからメールを送信してください。
- 土砂災害の危険
  - 小石がバラバラ落下
  - 斜面に湧水が発生
  - 斜面に亀裂が発生など

避難勧告  
避難準備  
高齢者避難開始

崖崩れの前兆現象  
などがでたら...

#### 避難行動(早めに行動)

- 安全な場所へ避難
  - 指定緊急避難場所等の避難場所、近くの高台、土砂災害警戒区域外の駅せきの家など
- 堅牢な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難
- 建物内の安全な場所へ退避
  - 夜間や危険が差し迫っている場合など屋外へ避難するとかえって危険な場合

水平避難  
垂直避難  
垂直の扉を閉め

#### ※ご自宅に応じた避難行動をとりましょう!

- ハザードマップを活用しご自宅や周辺の災害の危険性(土砂災害・洪水・高潮の危険)を確認します。
- 災害の危険性や浸水深等を考慮し、指定緊急避難場所等の避難場所へ避難するか垂直避難で大丈夫か確認します。
- 近くの避難場所(高台や垂直避難施設)を事前に確認しておきます。
- 避難勧告・避難準備・高齢者等避難開始や前兆現象等があった場合には速やかに避難を開始します。
- 停電に備え懐中電灯やラジオを用意しましょう。

#### ※指定緊急避難場所について

指定緊急避難場所は、切迫した災害の危険から一時的に逃れるための場所で、「洪水」「土砂災害」「高潮」「地震」等の災害の種別ごとに地域防災拠点である市立小学校を指定しています。災害の種別によって、避難できる拠点とできない拠点があるので、日ごろからよく確認しておくことが重要です。また指定緊急避難場所の開設は、災害時、行政が避難勧告等を発令する場合に災害規模や状況に応じて決定します。

#### ◆災害の種別によって避難できる拠点和避難できない拠点ががあります!

**地震時 避難場所** ⇒ 北網島小学校地域防災拠点 (震度5強以上の時)

**水害時 避難場所** ⇒ 高田東小学校・駒林小学校・日吉台小学校

※この他 網島地区センター・上町会館を開設する場合があります

水害時 区が指定しない限り 北網島小学校は 避難場所になりません!!

※ 地域防災拠点の運営母体は 住民で構成する拠点運営委員会と避難者本人となります。

小学校は 施設管理者・学校再開準備班となりますが 運営母体は市より要請を受けた市民のボランティアによるものです。

2019年訓練&参観  
地域防災拠点運営委員会が  
実質的な  
「地区ライムライン」を  
回覧板等で配付  
全校児童・保護者にも説明



引用:北網島小学校地域防災拠点運営委員会副会長 垣中祐二氏「境目のない自助・共助の構築を目指して」  
~被害者0に向かって進める自助・共助・公助・医療との連携~

引用:北網島小学校地域防災拠点運営委員会作成の風水害マニュアル(学区で配布・共有)



顔の見える地域づくりを目指して…  
「北つな夏まつり」開催 まつりは もう一つの防災訓練！



引用：北綱島小地域防災拠点訓練「座学」資料

## 要旨

横浜市立北綱島小学校・太尾小学校は、学校運営協議会を中心とした学校・保護者・地域の連携を継続発展地域・保護者による学校支援体制が深化。学校を拠点とした学区の防災まちづくりが活性化。そのポイントには学校PDCAサイクルに噛み合った学校運営協議会の実質化がある。今回、両学校の元校長の鷲山が両校の今を取材して紹介した。

## 取組成果

- (1) 学校運営協議会と学校経営のPDCAサイクルが噛み合い、学校目標実現に向けた取組が深化
- (2) 登下校安全見守り体制、いじめ防止対策、防災教育への学校・保護者・地域連携が深化
- (3) 学校運営協議会が推進する「学校授業参観共催の地域防災訓練」「学校と地域のまつり」で地域社会再生

コミュニティ・スクール継続発展のための取組のポイント（一体的実施による学校・地域の課題解決）

- A 学校のチーム化とPDCA サイクル確立 →学校運営協議会にて協議、承認、助言、支援するサイクル  
・学校経営方針・教育課程・予算・地域防災・登下校安全・いじめ防止対策・学校評価
- B 学校運営協議会における校長・学校職員の役割は、学校職員、保護者、地域などの主体的参画を促し、合意形成を創出する「ファシリテーター」
- C 授業参観と共催の地域防災訓練 学校拠点地域まつり  
(職員への負担が少なく、児童・保護者・職員・地域が一体になり防災を学ぶ)

## 変化・成長

学校職員・児童・保護者組織・地域組織・それぞれの成長 「学校を核とした防災まちづくり」の実現

## 今後の課題

北綱島小・太尾小型の「学校を核としたまちづくり」を横展開することが、地域再生と防災力アップにつながるのでは

## 謝辞

**この発表にあたり、横浜市立太尾小学校、北綱島小学校の学校運営協議会、PTAの皆様、現職校長先生はじめ職員の皆様のご協力をいただきました。  
感謝申し上げます。**

**また、温かい連携により、学校づくりと地域づくりを実現されてきた歴代の皆様に心より敬意を表します。**

**今年の北綱島小地域防災拠点訓練は10月14日に実施 HP「地域防災拠点訓練」に公開中**

**今年の太尾小防災DAYは 11月16日（土）午前 見学歓迎とのことです。**